



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 16 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 8 月
3. 出張目的 ①現地栽培試験の管理と生育調査及び農家圃場での実証試験の設置：B
 ②ガーナ国北部におけるイネ生産圃場でのイネ分析試料の採取：A

4. 成果の概要

①硫黄と窒素の効率的組み合わせを明らかにする施肥試験に関して、試験圃場で生育中期のイネの地上部乾物重データを得た。

また、プロジェクトサイトの Zaw 村 5 地点、サバンナ農業研究所が位置する Tolon 郡の 4 村 29 地点、およびタマレ市内 1 地点の計 35 地点の農家圃場に上記施肥試験の実証に向けた試験プロットを設置するとともに、各農家圃場から表層土壌を採取した。

さらに農家への聞き取りにより、これらの圃場環境、生産性、およびイネの栽培法に関する情報を収集した。プロジェクトサイトの観測機器のデータを解析し、今年度は 7 月下旬から 8 月中旬にかけて渇水期間がみられたが、昨年度の同時期に比べると降雨条件は安定していたことを確認した。

②プロジェクトサイトに設置している施肥試験圃場のうち、施肥成分によるイネ生育の差異が顕著な 3 地点を選定し、RNA 発現解析に供試するためのイネ葉のサンプリングを実施した。RNA 安定化試薬の利用とサンプル採取直後からのクーラーボックスでの冷蔵保存を組み合わせることにより、ガーナ国の現地圃場からも RNA を分解させずに植物サンプルを回収することができた。